

口唇ヘルペスってどんな病気？

口唇ヘルペスは、唇やその周辺に痛みを伴い水ぶくれができる病気です。単純ヘルペスウイルスが原因とされており主に接触感染で起こる病気です。妊娠中はさまざまな不調や体調の変化が起こりやすいことや、産後は赤ちゃんの育児で睡眠不足や疲れ、環境の変化などが原因で、体の免疫力が落ちるため症状として現れます。



症状は？

① 前駆症状

ピリピリ、チクチク、ムズムズする
皮膚の熱感、違和感、かゆみを感じる

② 発症

自覚症状から半日以内に赤く腫れる
この時期はウイルスの増殖が活発化している

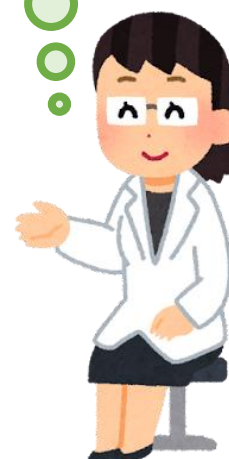
③ 2~3日後

水ぶくれが出来る
水ぶくれの中にウイルスが多く存在するため水ぶくれが破けたりした部分に触ると感染する

④ 回復

かさぶたができ治っていく

発症して早い時期に治療を始める事が大切です



治療について

妊娠中や産後に口唇ヘルペスの症状が現れた場合は、自己判断での薬の使用は避け、近くの医療機関（皮膚科）を受診し医師に相談しましょう。医療機関を受診した場合は、妊婦健診や産後健診の時に医師に伝えましょう。出産で入院時に口唇ヘルペスが出来ている、あるいは入院中に口唇ヘルペスの症状が現れた場合は、スタッフに必ず相談してください。



日常生活での注意点（対処法）

- ① 口唇ヘルペスの症状が出ている時は、清潔に保つために石鹸や洗顔料を泡立てて優しく洗いましょう
- ② 水ぶくれの中には、ウイルスが多く含まれているため、触ったり破ったりしないようにマスクを着用するなど触れないように気を付けましょう。触れてしまった場合は、手を石鹸できれいに洗いましょう
- ③ 悪化させないためにかさぶたは無理にはがさず、自然にはがれてくるのを待ちましょう



- ④ ウイルスが付いた手や食器やコップ、タオルなどから、周りの人にうつしてしまう可能性もあるため食器やコップ、タオルは共用にせず、使用後は洗剤で十分に洗いましょう（他の食器や衣類と一緒に洗っても構いません）
- ⑤ 口唇ヘルペスの症状が出ている時は、キスや性行為でパートナーに口唇ヘルペスや性器ヘルペスを発症させる危険性があるため避けましょう
- ⑥ 赤ちゃんに対してもキスや頬ずりはせず、顔を近づけすぎないようにしましょう
- ⑦ 口唇ヘルペスは体の免疫力が落ちている時に再発することが多いため、バランスの良い食事や十分に休息することが大切です。パートナーやご家族へ協力を得られる時は、協力してもらいながら、疲れやストレスを溜め込みすぎず、ゆっくり体を休めましょう



赤ちゃんへの影響は？



妊娠中に口唇ヘルペスの症状が出ても、胎盤を介しての胎児への影響はほとんどないとされています。

しかし、口唇ヘルペスがある時に性行為（オーラルセックス）を行うとパートナーが性器ヘルペスを発症してしまう可能性があり、自身も性器ヘルペスを発症する可能性があります。分娩時に性器ヘルペスを発症した場合は、分娩方法が帝王切開となります。

産後であれば口唇ヘルペスに触った手で赤ちゃんに触れると、新生児は免疫力が弱いため感染する可能性もあります。そのため、自宅では

赤ちゃんに触れる前にしっかり手を洗いましょう。

また、赤ちゃんにあげる母乳からの感染もほとんどありませんが、授乳や搾乳をする前に必ず手洗いをし、おっぱい専用のタオルを使用しましょう。



新生児ヘルペスの症状

- ・口の中や周りに小さな湿疹や赤みがある ・発熱
- ・元気がなく、ぐったりして泣かない ・呼吸がいつもと違う
- ・おっぱいやミルクを飲まない、飲む力が弱くなっている



当院で入院中に口唇ヘルペスを発症した場合は？

分娩前に口唇ヘルペスの症状がある場合は、分娩直後から母児異室となります。

直接面会はできません。ただし窓越しや iPad での面会は可能です。

分娩後は母児異室となり、赤ちゃんに接触している場合は赤ちゃんの治療が必要となります。直接授乳はできませんが、搾乳で母乳をあげることはできます。搾乳をする前には、手洗いやマスクをしてから行いましょう。

医師から口唇ヘルペス完治の診断があれば、赤ちゃんと一緒に過ごしたり、面会も可能になります。

